



■学園祭大成功！！



第19回読谷学園祭は、郷土の音楽選択者や有志などによる『かぎやで風』の素晴らしい演奏で開幕しました。

校長あいさつでは「感動、一生懸命、楽しむ」を2日間のキーワードとしましたが、皆さん十分に頑張ったと思います。石嶺読谷村村長をはじめ、沢山のご来賓ご父母そして地域の方々が来ていました。

校門の装飾は学園祭に華を添え、舞台での熱演には沢山の拍手があり展示の部での工夫した取り組みも大盛況で、廊下や階段には幾つもの長い列が作られていました。バザーの部も早々に売り切れが出る程の人気でした。「素晴らしい作品、展示や舞台なども良かったです」と多くのお褒めの言葉を頂きました。それからPTAの方々にも朝早くからバザーの準備と沢山の食べ物を提供して頂きました。昼食もろくに食べられない程の忙しさだったとのこと。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。空前絶後の学園祭！！すべてがダイヤモンド級で大成功！！皆、輝いていました！！後夜祭も大変、盛り上がっていました！！

■10月の行事

- 1日(日) 学園祭②
- 2日・3日 代休
- 5日(木) 県高文祭(～7日)
- 6日(金) 修学旅行班編制
第2回英検1次
- 10日(火) 服装容儀指導週間
- 12日(木) 中間考査①
- 13日(金) 中間考査②
- 14日(土) 全琉マーク模試
新人テニス大会
- 15日(日) 全琉マーク模試
- 17日(火) インターネット学習①
- 18日(水) 新人大会激励式
- 19日(木) 追試①、学校説明会
- 20日(金) 追試②
- 21日(土) 秋季ラグビー①

沖縄科学クラブ

- 22日(日) 秋季ラグビー②
- 23日(月) あいさつ運動週間
- 26日(木) PTA進路講話
- 28日(土) 高校新人大会①
秋季ラグビー③
- 29日(日) 高校新人大会②
東進全国統一高校生テスト



■沖縄県高等学校音楽コンテストおめでとう！！

マリンバ(銀) 1年喜友名朝輝
ピアノ伴奏 2年藤井 夕希

※校長だより9号で紹介できず失礼しました。

★本の紹介コーナー★

題名：辞書になった男 ケンポー先生と山田先生

著者：佐々木健一

随分と前の話になるが、月刊誌「文藝春秋」に掲載された赤瀬川原平のエッセイ「フシギなフシギな辞書の世界」がとても面白かった。辞書は、どれも同じで無味乾燥なことばの定義の羅列と思っていたが違ったのだ。「フシギな辞典」とは、『新明解国語辞典』(略して『新明解』)のこと。それから数年前、NHKBSで『ケンポー先生と山田先生～辞書に人生を捧げた二人の男～』という番組が放映された。その番組のディレクターが、番組で放映されなかったエピソードや放映後に明らかになった新事実などを加えて書籍化したものが今回のオスメ本である。ケンポー先生こと見坊豪紀(けんぼうひでとし)と山田忠雄は東大国文科の同級生で、若い頃から一緒に『明解国語辞典』(三省堂刊)などを作ってきた。しかし、ある日を境に二人は決別し、そしてそれ以降二度と会うことはない。それは『昭和辞書史最大の謎』とされた。本書はその謎を解き明かすノンフィクション作品なのだ。しかもその手がかりとなるヒントをケンポー先生が編集した『三省堂国語辞典』(略して『三国』)や山田先生が編集した『新明解』から見つけていくから面白い。例えば『新明解(四版)』の【じてん：時点】の用例は、「一月九日の時点では、その事実は判明していなかった」とある。筆者は、「一月九日」を「一九七二年一月九日」ではないかと考えた。その日は『新明解(初版)』の完成祝賀会の日であり、この日を境に二人が決別するからである。そうだとすると「その事実は判明していなかった」とも完成祝賀会の日には符合するある事実がある。

「この『一月九日』をきっかけに、私は二人の編集者の秘められた心情を、国語辞書の記述からも紐解くことができないかとかんがえるようになった。ある日突然、辞書の用例に”意味”を感じてしまった瞬間から、辞書の記述を単なることばの解説だけと捉えられなくなっていった。」として、関係者との取材も重ね謎が解かれていくのである。推理小説のように話しは展開していくが、それが手元の『新明解』や『三国』で確認できるところがまた面白い。ケンポー先生の『三国(二版)』の【ば】の用例に「山田といえば、このごろあわないな」とある。やはり「山田」とは山田先生のことだろう。